

もりおか

広報 2016

4月1日号(No.1430)

思いも通う、 開運橋



◆主な内容◆ (平成28年4月1日号)

特集「もりおか自転車ライフのススメ」	2～3ページ
28年度芸術鑑賞事業	4～5ページ
愛犬に健康と長生きを、狂犬病予防注射日程	6～7ページ
町内会・自治会活動の支援、ミスさんさ踊りやチャグチャグ馬コ乗り手などを募集	8～9ページ
盛岡町家旧暦の雑祭り、盛岡さくらまつり、ハンギングバスケット作りを支援、ネーミングライツ導入、盛岡ブランド推進市民企画事業の募集、人間ドック費用助成	10～11ページ
小学生の通院医療費助成、保留地売却、国体コラム、盛岡ライフストーリー、市民伝言板	12～13ページ
市民農園の利用者を募集	16ページ

盛岡の玄関口に位置する開運橋。朝夕、大勢の通勤・通学者がこの橋を渡ります。開運橋は別名「二度泣き橋」と呼ばれています。首都圏などからの通勤族の間で語られたのがその由来。初めて盛岡を訪れたとき、「遠い所まで来てしまった」と泣き、盛岡を去るときには、人情に厚く、豊かな自然や食べ物に恵まれた盛岡での暮らしを思っただけで再び泣くというもの。開運橋は、明治23(1890)年に上野・盛岡間の鉄道が開通した際、盛岡駅と市街地を結ぶため北上川に架けられました。その後、流失、架け替えを経て、現在の橋となったのは昭和28(1953)年のこと。昨年、22年ぶりにお色直ししたばかり。橋の上流方向には岩手山がそびえ、観光客にも人気の撮影スポットとなっています。

